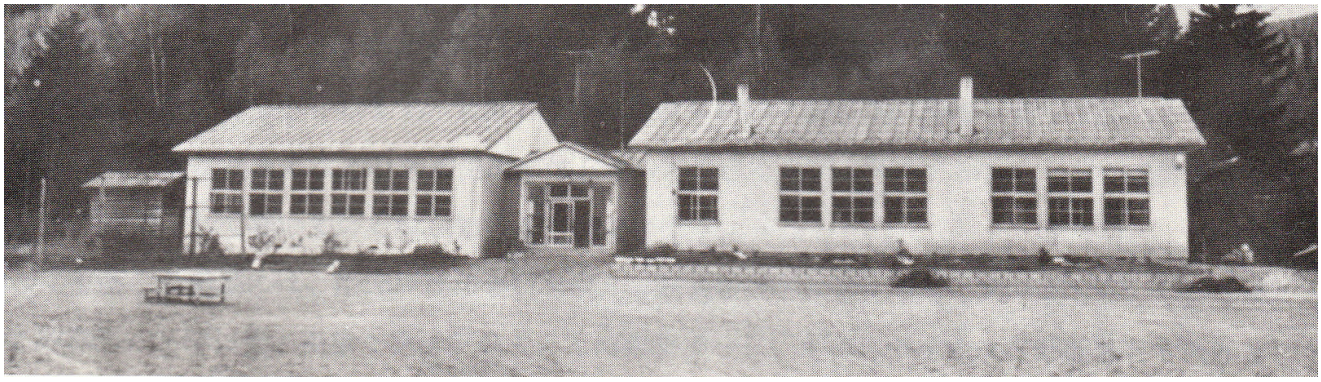
あのときの常呂・写真館

VOL 54

（１９７６年）

昭和５１年３月２３日　吉野小学卒業式・閉校式



▶常呂図書館にある吉野小学校の写真は、残念ながらこの校舎と閉校式のものだけです。

▶吉野小学校・登小学校の閉校記念誌「思いで」によると、吉野小学校は大正８年４月２４日、手師学尋常小学校隈川特別教授場として設立されたところから始まります。実際の授業は、元笠原農場事務所１２坪を校舎として５月８日開校、当時の児童は１８名でした。

▶大正１１年２月２７日に最初の校舎（３２坪）が落成、児童数は３１名に増えています。

▶児童数の増加に伴い何回かの増築を行い、昭和１１年９月３０日に校舎移転及び増築工事（４６坪半）が落成し、昭和１３年には児童数８１名を数え、ピークを迎えます。

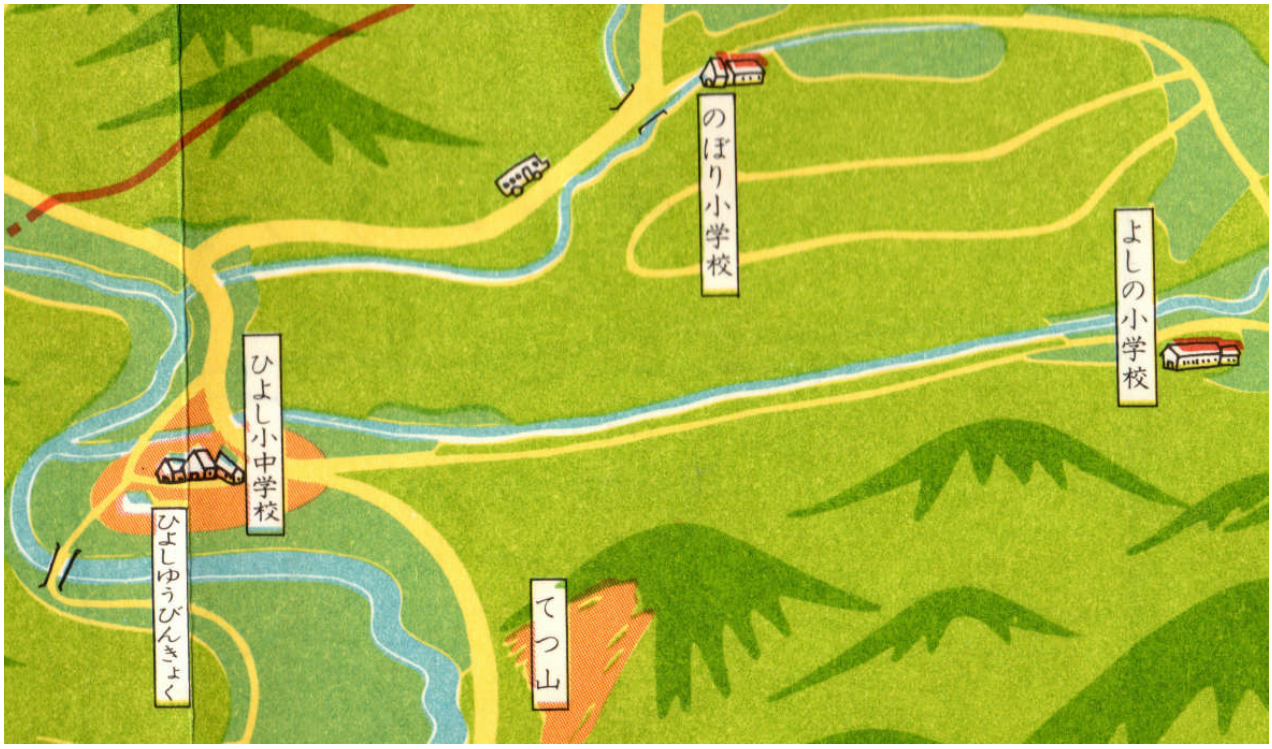
▶吉野地区の農業は、地域の開拓と同時に栽培した薄荷が昭和１０年頃児童数に合わせるように最盛期を迎えます。

▶戦後、昭和２５年にラジオ聴取、２９年に電灯通電、３３年に農村電話、３４年に体育館建設、３６年にはテレビ設置・新校舎落成・水飲み場に水道設置と学校の教育環境・施設の整備が進みますが、反面、昭和３６年には児童数３６人に減少していきます。農業政策の転換に伴い離農が進み、４２年には２０人、４８年は１０人、５０年には２人となり、吉野小学校は５７年間の歴史で４０３人の卒業生を送り出し、閉校します。

＊下の２枚の写真は、昭和５８年に建てた「隈川特別教授場跡」の木柱で、吉野小学校校舎を活用して活動している「虫夢ところ昆虫の家」の道路に面する敷地内にあります。かなり色あせ、かろうじて文字を判読できる程度ですが、昆虫の家と木柱を見ることで往時をしのぶことができます。

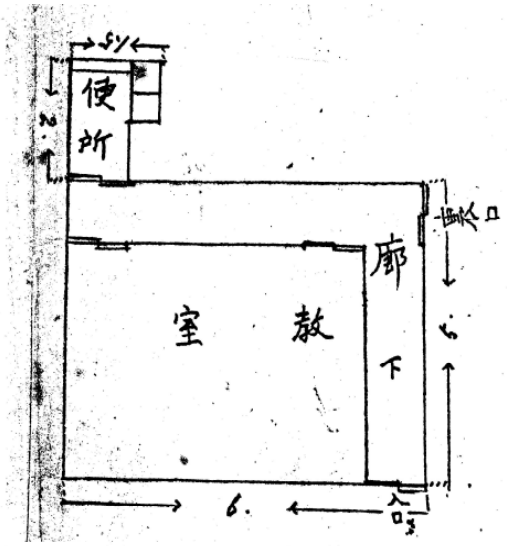
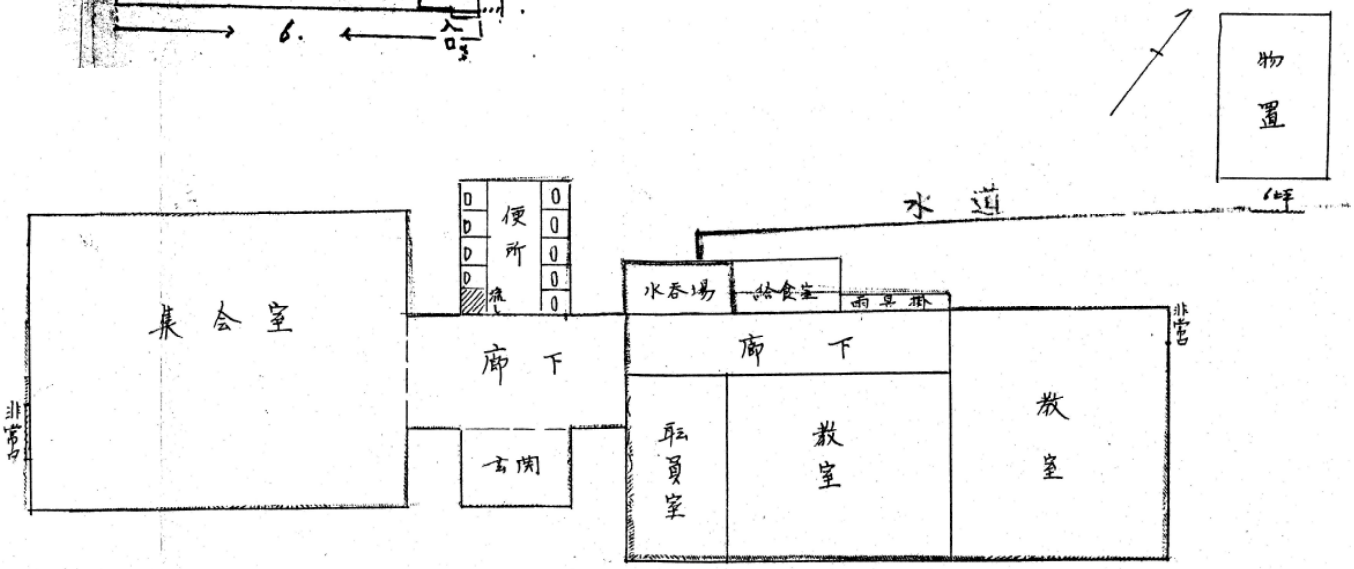
＊次ページには、吉野小学校の位置図と校舎平面図を載せています。

昭和４６年３月発行「小学校３．４年生社会科副読本ところ」から



＊大正４年の入植後、手師学尋常小学校隈川特別教授場が設置されるまで、吉野（当時は隈川）の児童は、手師学（日吉）尋常小学校まで６～８ｋｍの刈り分け道路を通学していました。

「吉野小学校沿革誌」から

＊左の平面図は、大正１１年新築時の小学校

＊下の平面図は、昭和３９年以降の小学校（同年、給食室が整備）